



13 やさしい英語で『歎異抄』を読む

【全2回】

たなか
田中ケネス
武蔵野大学名誉教授



受講料	会員料金: ¥5,000 早割価格: ¥4,000 (納入期限: 9月25日)
-----	---

【日程・時間】【全2回】 10月2日 10:30~12:00・13:30~15:00

■受講に必要なもの

【テキスト】レジュメ配布

Dennis Hirota (翻訳) Tannisho: A Primer. Ryukoku University

『歎異抄』は浄土真宗の宗門を超え注目され、幅広い層の人々の間で人気を呼んでいる日本仏教を代表する書物であります。それが、海外でも同じであり、すでに数ヶ国語に訳されていて、英語でも10冊以上の訳があるのです。

英語を通して読めば、また別の感覚と理解が生まれてくる可能性があります。私は目下、東京で三つの「英語を通しての仏教講座」を受け持っていますが、講座は大変人気があり、合計170人が受講しています。受講生からは、英語を通して仏教を学ぶと分かりやすく、また、今まで味わったことがない感覚を覚えるという意見をよく聞きます。また、若い年齢層の受講生が目立ちます。

では、『歎異抄』からのいくつかの文章がどのように訳されているかを紹介しましょう。

- 1) 第2章、「いづれの行もおよびがたき身なれば、とても地獄は一定すみかぞかし。」は、Since I am one for whom any practice is difficult to accomplish, at all events hell is decidedly my home!
- 2) 第3章「善人なほもって往生をとぐ、いはんや悪人をや。」 Even a good person attains birth; how much more so the evil person!
- 3) 第5章「そのゆへは、一切の有情はみなもて世々世々の父母兄弟なり。」 The reason is, all living things - every one of them - are my parents or brothers and sisters of many lives in many states of existence.

本講では、『歎異抄』の重要な箇所を、講読して行く予定です。この授業を一昨年受けた方も、新しく受ける方にも興味を持って頂ける内容となると思います。

英語の文章の詳しい説明をした後、講師がその意味を真宗教学と大乘仏教の観点から日本語で詳しく説明いたします。また、現代人が直面する実存的と社会的な課題を『歎異抄』の叡智の視点から考えることにも努めることにしたいと思っています。

教科書は、Dennis Hirota (翻訳) Tannisho: A Primer. Ryukoku Universityを使用します。しかし、この本は絶版になっていますので、購入できません。したがって、講師が受講生の分を用意いたしますので、受講生は購入する必要はありません。

英語能力に自信がなくても、遠慮なく参加されることを歓迎いたします。

【参考書】

講師が用意